

企業名： カーリットホールディングス

レポート名： 統合報告書レポート

1. この会社が目指す姿が理解できるか

私はこの会社が ESG 経営の推進と利益ある成長を目指していると考えます。社長メッセージによると、カーリットホールディングスは ESG 経営の推進と利益ある成長を目標としている。まず会社の見据える ESG 経営について述べる。ESG とは環境、社会、ガバナンスという企業の成長に必要な三つの観点である。統合報告書ではカーリットホールディングスが SDGs の実現に向けて努力をしていることが何ページにもわたって記載されている。そこからカーリットホールディングスがすでに環境への配慮を行っている企業であると同時に、社会貢献性の高い企業であると自負していることがわかった。ガバナンスに関しても、社外取締役を三人、社外監査役を二人選任するなどして適切なコーポレートガバナンスを追求しているとわかった。また、カーリットホールディングスは新たに広報・ESG 推進室を設置しており、今後も継続的に ESG 経営を続けていくという強い意志がうかがえる。このことから、この会社はおおむね ESG 経営を達成しており、今後も継続していくことが目標だと考えられる。次に、利益ある成長について。カーリットホールディングスは昔、売り上げを重視した経営を行っていた。近年は見直しが進み、利益率向上やコスト削減を経営目標としている。成長分野への参入やその分野での研究開発は利益率向上への意欲の表れだと考える。統合報告書には第三者からの評価が記載されており、そこには経済活動と SDGs 経営を両立する難しさが上がられていた。投資家の視点を採り入れて、経済的利益を伴った SDGs 経営を追求する必要に会社が迫られていると感じた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

統合報告書にはカーリットホールディングスの強みは人材だと記載されている。たしかにさまざまな社員への支援が充実していて、人材を重視していることはわかった。しかし、私はこの企業の本当の強みはほかにあると考えます。一つ目は独自の技術だ。カーリットホールディングスはロケット推進燃料を JAXA に供給する国内唯一の企業であり、この会社は宇宙開発に不可欠な存在となっている。また創業当時から電解をコア技術としている。電解液は蓄電に必要な不可欠であり、自動運転車などへの採用が期待されているため、今後も需要は衰えないだろう。二つ目に積極的な研究開発をしていることが挙げられる。カーリットホールディングスは化学分野に絞った開発をメインの研究開発としている。その中でも、5G 向けの電気制御に用いられる機能性材料の開発は、成長分野であるため、高い利益貢献性が期待できる。三つ目に自社で水力発電所を保有

している点だ。これによる電気料金の削減は年間三億円にのぼると記載されている。安定的な電力供給が確保できていることは強い競争優位性をもたらすと考える。一部の工場では電力を100%この水力発電で賄っており、再生可能エネルギーを使用しているという点でも、カーリットホールディングスの環境への意識が窺える。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

私はカーリットホールディングスの競争優位性は持続すると考える。理由は二つある。一つ目は成長性が高い分野に製品を供給している点だ。現在はシリコンウェーハの製造販売がそれに当たる。シリコンウェーハは半導体の微小化に必要な素材であり、5G対応の高周波用途でも使用される。その市場は年平均7%の成長が見込まれている。また先述したように、現在は電気制御に用いられる機能性材料の開発に着手しており、この分野も高い成長が見込まれる。このように成長性の高い分野への投資を行っていることは企業の将来性を引き上げることになるだろう。二つ目に固有の技術を持っているということだ。ロケット推進薬はその良い例だ。ほかにもこの会社は火工品などの特定の分野で大きなシェアを維持し続けてきた実績がある。この競争優位性は今後も揺らぐことはないだろう。これらの競争優位性は数字にも表れている。キャッシュフロー計算書を見ると、安定企業型の財務状況であるとわかる。加えて、配当性向も高いため。継続的に利益を上げていると考えられる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

私はそう考える。なぜならカーリットホールディングスは社員への支援が充実しているからだ。そのため自身の人的資本の価値向上に集中できる環境が整っている。育休、リモートワークの環境整備、住宅補助、基本給の引き上げ、女性の育休取得率100%の達成など、このほかにもたくさんの支援を行っている。私が特に良いと思ったのは充実した研修・教育制度だ。新入社員だけでなく管理職までがそれぞれの役職に合った研修を受けられる。また通信教育の費用が会社負担になったり、資格取得祝い金が出たりするなど、社員のスキルアップに積極的に貢献する姿勢を見せている。また、社員に希望部署のアンケートを行っているという点も素晴らしい。それが人事異動のときにも使われるという。このように充実した環境であれば会社側にも従業員側にもメリットがある経営ができると思う。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

ないです。素晴らしい報告書だと思いました。